

教育職員免許取得プログラム

大学院で学位を取得するとともに教員の免許が取得できるプログラム

このプログラムは、長期履修学生制度に基づき3年間で大学院専門職学位課程（教職大学院）又は修士課程の教育課程と学部の教育課程を併せて履修することにより、教職に関する高度な専門知識を修得するとともに、得意分野を持った小学校教員や中学校教員等の養成を目指すものです。

学部の教員養成カリキュラムを履修し、単位を修得することにより、教育職員免許取得の所要資格を得ることができます。

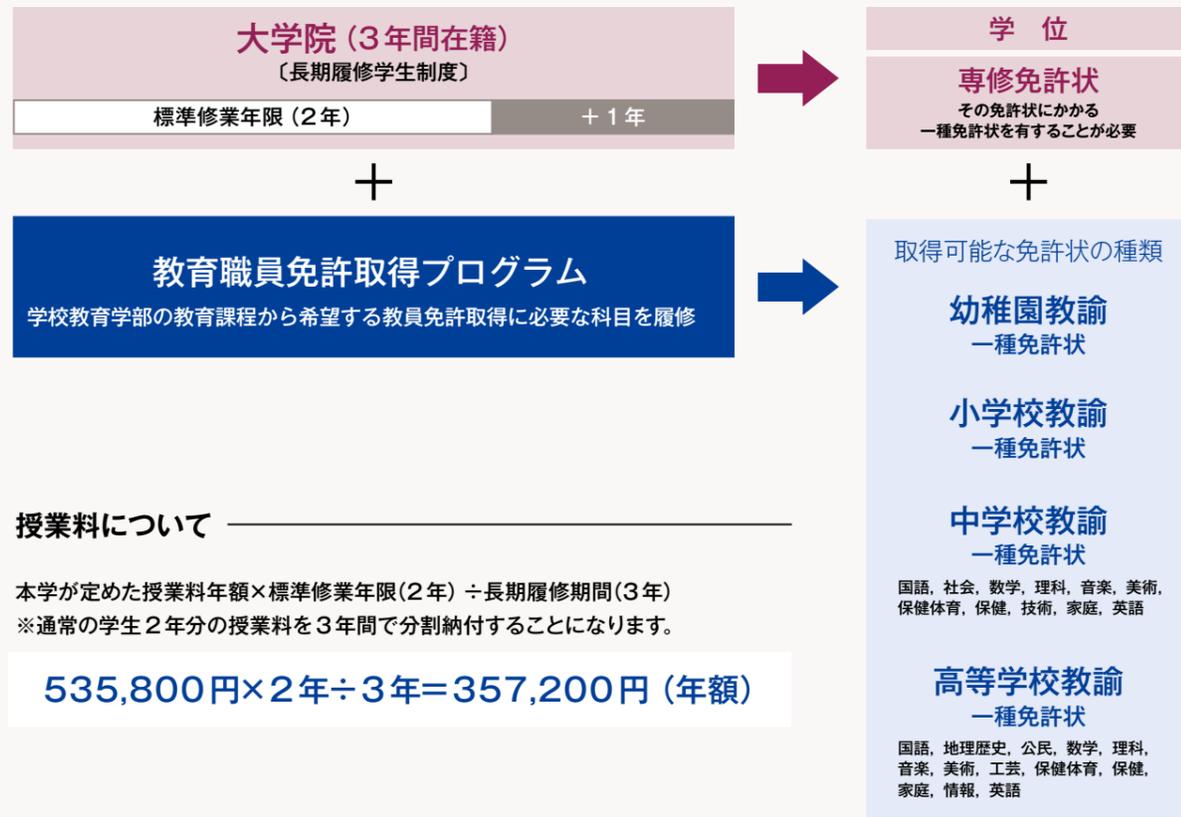
専門職学位課程（教職大学院）においては、本プログラムを申請した方で、大学院の入学試験に合格した方が受講することができます。

修士課程においては、本プログラムを申請した方で、大学院の入学試験に合格し、併せて本プログラムの受講を許可された方が受講することができます。

ただし、修士課程の心理臨床コースや在留資格が「留学」の外国人留学生等は、本プログラムを申請することができません。

教育職員免許取得プログラム

長期履修学生制度を利用し、3年間で大学院の教育課程と学校教育学部の教育課程を履修します。



授業料について

本学が定めた授業料年額×標準修業年限(2年)÷長期履修期間(3年)

※通常の学生2年分の授業料を3年間で分割納付することになります。

$$535,800 \text{円} \times 2 \text{年} \div 3 \text{年} = 357,200 \text{円 (年額)}$$

【募集人員】 【過去5年間の受講者数】

100人程度	2014年度 (平成26年度) 入学者	2015年度 (平成27年度) 入学者	2016年度 (平成28年度) 入学者	2017年度 (平成29年度) 入学者	2018年度 (平成30年度) 入学者
	99人	98人	94人	128人	99人

取得する免許状に必要な単位数 (2019年度入学者プログラムによる)

取得する免許状	所有する免許状				
	免許状なし	小一種	中一種	高一種	幼一種
小学校教諭一種	71	—	53	53	53
中学校教諭一種	67	49	(他教科)32以上 (他教科)28(※1)	49	49
高等学校教諭一種	71(※2)	53(※2)	53(※2)	(他教科)38以上 (他教科)24(※1)	53(※2)
幼稚園教諭一種	77	43	59	59	—

上記の単位数は、卒業学部の既修得単位、複数免許を取得する際の教科・履修方法等により異なる場合があります。

(※1) 教育委員会が実施する教育職員検定による場合

(※2) 地歴・公民・情報は+2

教育職員免許取得プログラム受講者の3年間の主な履修スケジュール

(小・中学校教諭一種免許状を取得する場合の例)

月	1年次	2年次	3年次
4	・入学式、オリエンテーション(上旬) ・前期授業開始(4月上旬~8月上旬) ・免許に必要な科目の確認 ・履修登録期限(下旬) ・教育実地研究II(授業基礎研究)(通年)	・前期授業開始(4月上旬~8月上旬) ・履修登録期限(下旬) ※受講取消申請予定者は、必ず教職実践演習を登録する。	・前期授業開始(4月上旬~8月上旬) ・履修登録期限(下旬) ・教員採用試験出願(4月~6月) ・教職実践演習(4月~12月)
5	・免許取得希望届(上旬)	・教育実地研究III(初等教育実習)	・教育実地研究IV(中等教育実習)
6	・受講取消申請書提出期限(6月5日正午) ・教育実地研究I(観察・参加)	・介護等の体験(社会福祉施設) (6月下旬~2月)	
7			・教員採用試験(7月上旬~9月)
8	・前期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬、下旬) ・夏期休業(8月12日~9月30日)	・前期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬、下旬) ・夏期休業(8月12日~9月30日) ・教育実地研究III(初等教育実習)(8月下旬~9月下旬)	・前期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬、下旬) ・夏期休業(8月12日~9月30日)
9	・集中講義(上旬~下旬) ・介護等の体験(特別支援学校) ・教育実地研究I(観察・参加)	・集中講義(上旬~下旬)	・集中講義(上旬~下旬)
10	・創立記念日 ・後期授業開始(10月1日~2月上旬) ・教員養成強化研修(毎水曜日) ・次年度初等・中等教育実習希望申込	・創立記念日 ・後期授業開始(10月1日~2月上旬) ・教員養成強化研修(毎水曜日) ・受講取消申請書提出期限(10月31日正午) ・次年度初等・中等教育実習希望申込	・創立記念日 ・後期授業開始(10月1日~2月上旬) ・学位論文等題目提出期限【修士】 (10月31日正午)
11	・次年度特別支援学校教育実習希望申込	・次年度特別支援学校教育実習希望申込	・免許状一括授与申請提出期限(下旬)
12	・冬期休業(12月27日~1月5日)	・冬期休業(12月27日~1月5日)	・冬期休業(12月27日~1月5日)
1			・学修成果報告書提出期限【専門職】 学位論文等提出期限【修士】 (1月10日正午)
2	・後期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬)	・後期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬)	・後期期末試験(上旬) ・集中講義(中旬)
3	・春期休業(3月16日~4月7日)	・春期休業(3月16日~4月7日)	・春期休業(3月16日~4月7日) ・学位記授与式(下旬)

●介護等の体験(1年次:特別支援学校2日間,2年次:社会福祉施設等5日間)は、該当者のみ行います。

●教育実習は、上越市、妙高市、糸魚川市及び柏崎市等の公立学校及び附属学校・園で実施します。

●このスケジュールとは別に、2年次から3年次にかけて、専門職学位課程(教職大学院)は「学校支援フィールドワーク」、修士課程は「課題研究フィールドワーク」として学校等における実習が実施されます。

●表の中で、【専門職】とあるのは専門職学位課程(教職大学院)、【修士】とあるのは修士課程を表します。

教育実習の履修

幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教育職員免許状を取得するためには、取得する免許状の種類に応じた学校種で教育実習を行うことが必要です。

本学の教育実習は、本学附属学校・園のほか、上越市、妙高市、糸魚川市及び柏崎市等の公立学校から協力を受けており、学生の皆さんは本学の指定する学校で教育実習を行うこととなります。

大学所在地から実習校までの距離は、指定された学校毎に様々です。遠方の学校では、上越市内で30km、妙高市内で35km、糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり、公共交通機関又は自家用車を利用していただくこととなります。

本プログラム受講生は、原則として主に上越市外の学校で教育実習を行っていただくこととなります。また、教育実習に係る交通費等及び教育実習のための教科書（教育実習ハンドブック）の購入は自己負担となります。

教育職員免許取得プログラム受講者への支援

教育職員免許取得プログラム受講者が、高度な専門知識と実践力を備えた小学校教員や中学校教員等として学校現場の第一線に立って活躍するための支援として、講義棟1階のキャンパスライフスクエア内にある教育支援課、学校実習課、学生支援課及びプレイスメントプラザで連携した支援体制を取っています。教育支援課・・・教育職員免許取得のための修学指導を行っています。

学校実習課・・・教育実習についての問い合わせ等に応じています。学生支援課・・・学生生活全般を適切かつ円滑に送るための支援を行っています。

プレイスメントプラザ・・・教員就職に関する教員採用選考試験対策講座や就職ガイダンスを実施し、教員を目指す学生を強力にサポートしています。また、キャリアコーディネーター（公立学校の校長職経験者）が、就職・進路の相談や教員採用試験対策の個別指導を行っています。

教育職員免許取得プログラム受講者の教員就職状況（修士課程）

各修了年の9月30日現在

修了年度	受講修了者数	教員就職者						計	教員就職率
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援学校	期限付き教員として採用		
2016年(平成28年)3月修了生	92	20	7	6	1	10	36	80	87.0%
2017年(平成29年)3月修了生	89	9	8	1	0	5	50	73	82.0%
2018年(平成30年)3月修了生	92	16	9	6	1	7	42	81	88.0%

教育職員免許取得プログラム受講生からのメッセージ



橋本 真央さん

2018年度(平成30年度)修了生
公立特別支援学校教諭採用

私は、大学で福祉学を専攻し、障害のある子が社会に出るまでの学校教育の大切さを感じ、「教員になりたい、教職をきちんと学びたい!」と思い入学しました。教員免許取得のための学部の授業と並行して大学院での学びを進めることで、広い視野で学習ができました。また、教員を志す仲間や現職派遣の先生方と学び合いができたことは、専門的な学びに繋がり、より教員になりたいという気持ちが高まったと思います。この大学院での日々は、自分の実力をつけられる実りある日々でした。

入学前所持：特支一(知・肢・病)、高一免(公民、福祉)

教育職員免許取得プログラムで取得した教員免許状：
小一免、中一免(国語)、高一免(国語)



宮澤 諒也さん

2018年度(平成30年度)修了生
公立小学校教諭採用

私は、学生時代、尊敬する先生に出会い、その先生に憧れて教員を志しました。しかし、在学した大学では小学校教諭の免許を取得することができなかったため、教育職員免許取得プログラムを受講しました。大学院の3年間は、教員免許取得のための学部の授業と大学院の授業を並行しての受講、さらに教員採用試験に向けた勉強と多くの課題がありましたが、同じ教員を志す友人や現職派遣の先生、大学の先生方に支えていただき、学びを深めることができました。

入学前所持：中一免(社会)、高一免(地歴、公民)

教育職員免許取得プログラムで取得した教員免許状：
幼一免、小一免、中一免(美術)、高一免(美術)、中二免(英語)